※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　演劇　　科

教科	演劇	科目	劇表現	単位数	4　単位	年次	2　年次
使用教科書							
副教材等	『ういらう売りせりふ』、『日本語アクセント辞典』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には、舞台に立つものとしての自覚を持って参加してください。
・本気になって取り組むことが大事、その自覚を持って授業に臨んでください。
・演劇はいかなる場合も即興的でなければならない。そのことを自覚しましょう。
・学んだこと、授業を受けて気づいたことなどは、その日のうちにメモしておくように心がけましょう。
・積極的に、なおかつ楽しく取り組むことが一番です。それが、あなたの能力を伸ばしてくれます。

2　学習の到達目標

A.「演劇科」の目指す心身の育成。（コミュニケーション能力、協働の力など）
B.「演劇作品（卒業公演）」を打つための、最低限の知識・技術の習得。
　俳優訓練を用いて心身を開放し、コミュニケーション能力を養う。
　1学期…演劇作品に取り組むためのノウハウを様々な角度から学ぶ。
　2学期…役割・連携を意識し、劇づくりの幅を広げる。
　3学期…卒業公演オリジナル作品に向け、具体的に始動していく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	演劇的な表現をするために必要な技能を身につけ、その技能を、創意工夫した表現へと結びつけているか。	演劇の本質的な面白さを感受し、自らの発想を演劇的に表現するための構想を練ることができるか。	演劇文化を愛好し、身体による表現に関心を持ち、意欲的、主体的に身体表現を行って、その喜びを味わおうとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	課題戯曲「站」	・ト書きから、作品の広がりを模索する。 ・相手を受けての即興的な反応を訓練する。	a:基礎的な技能をきちんと身につけ、それを表現に生かしているか。 b:演劇ならではの面白さを意識しながら、表現活動に取り組んでいるか。他者の表現を的確に評価できているか。 c:授業に積極的に取り組んでいるか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	CM作品創作	・映像を舞台化することから、舞台作品の特性を発見する。 ・観客の評価を意識した作品創作を体験する。	a:基礎的な技能をきちんと身につけ、それを表現に生かしているか。 b:演劇ならではの面白さを意識しながら、表現活動に取り組んでいるか。他者の表現を的確に評価できているか。 c:授業に積極的に取り組んでいるか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
2	ディベート	・ミーティング力の向上 ・質疑応答から、会話のキャッチボールをめざす ・情報収集とその積み重ねに習熟する	a:基礎的な技能をきちんと身につけ、それを表現に生かしているか。 b:演劇ならではの面白さを意識しながら、表現活動に取り組んでいるか。他者の表現を的確に評価できているか。 c:授業に積極的に取り組んでいるか。	実技テスト	リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
	戯曲創作	・表現する上での、自己の動機を探る。 ・戯曲を書くためのノウハウを学ぶ。 ・習作を繰り返し、創造性の深まりを体験する。	a:基礎的な技能をきちんと身につけ、それを表現に生かしているか。 b:演劇ならではの面白さを意識しながら、表現活動に取り組んでいるか。他者の表現を的確に評価できているか。 c:授業に積極的に取り組んでいるか。	提出作品	提出作品 リフレクションシート	授業に取り組む姿勢
3	短編戯曲の稽古	・セリフのやりとりを意識して、課題戯曲に取り組む。	a:基礎的な技能をきちんと身につけ、それを表現に生かしているか。 b:演劇ならではの面白さを意識しながら、表現活動に取り組んでいるか。他者の表現を的確に評価できているか。 c:授業に積極的に取り組んでいるか。	実技テスト	実技テスト リフレクションシート	授業に取り組む姿勢

※　表中の観点について　　a：知識・技能　　b：思考・判断・表現　　c：主体的に学習に取り組む態度